

4種類の代表的な語順表

1

付加（頻度、still, also, __lyなど）

だれ何が／は

どうする

だれ何を／に

どのように
どこ
～しに
その他

いつ

なぜ

2

付加

だれ何が／は

イコール

だれ何／どんなだ

だれにとって
どこ
その他
to ~

いつ

なぜ

3

付加

だれ何は
There

be動詞
(いる・ある)

→→スキップ→→
(数量詞) だれ何が

どこ
その他

いつ

なぜ

4

付加

だれ何が／は

どうされる
(be+過分)

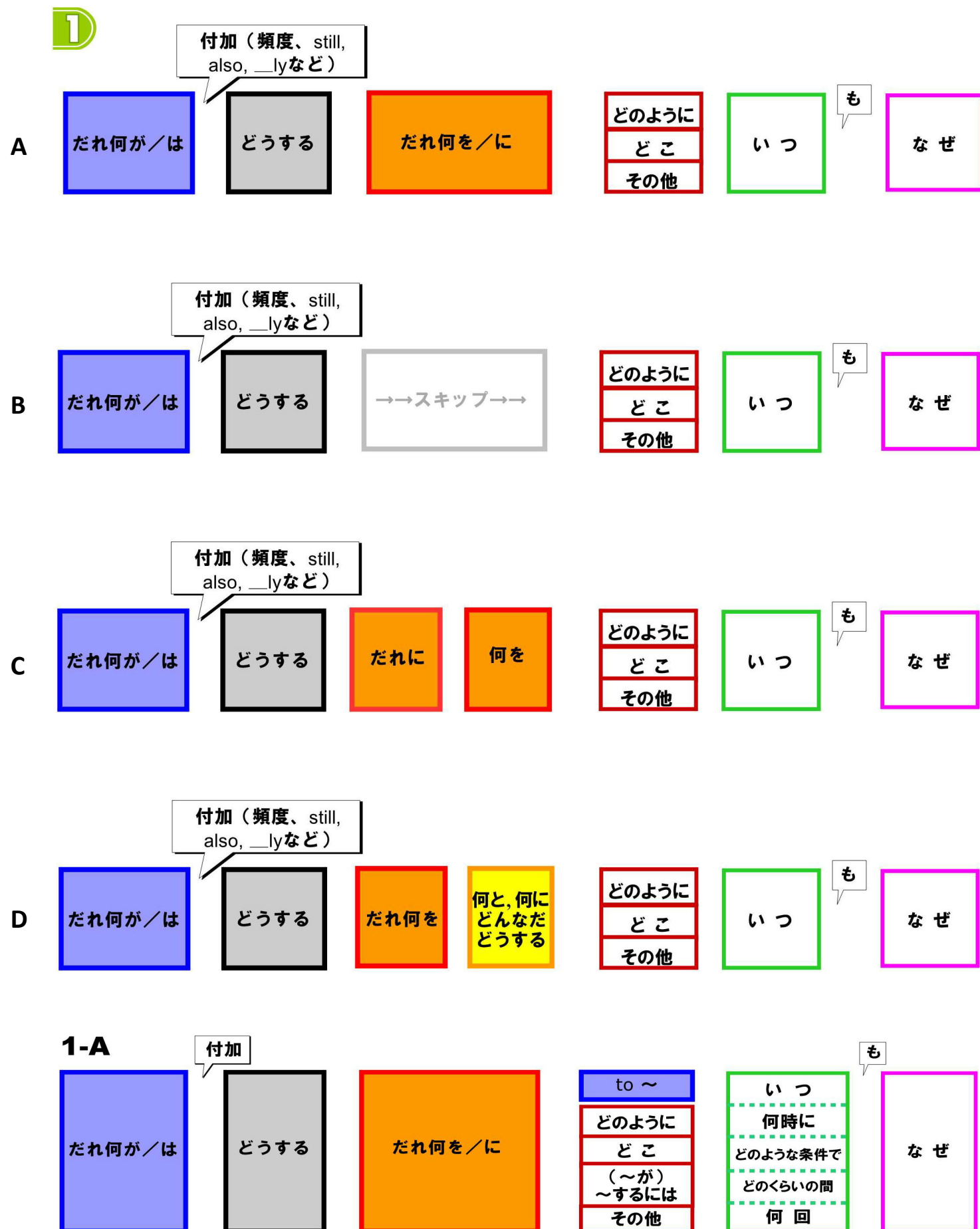
どのように
だれによって
どこ
その他

いつ

なぜ

だれ何のために／目的で／を求めて／なしで
だれ何について／のことを、何が原因で
何語で、だれ何と一緒に／伴って／に対して
だれ何より／のうちで／と同じくらい
どんな行事・機会・点で／に、何として など

グループ1の語順表「一般動詞を含む文」



グループ2の語順表「A=B、A≒Bの文」

2-A

だれ何が／は

イコール

付加

だれ何／どんなだ

だれにとって
どこ
その他
～するには
that 文
to ～

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

2-B

だれ何が／は

五感

付加

だれ何／どんなだ

だれにとって
どこ
その他
～するには
that 文
to ～

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

2-C

だれ何が／は

なる

付加

だれ何／どんなだ

どのように
だれにとって
どこ
その他
～するには
that 文
to ～

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

2-D

だれ何が／は

ままにいる

付加

だれ何／どんなだ

だれにとって
どこ
その他
～するには
that 文
to ～

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

グループ3の語順表「いる、ある、置いてある、入っている、行っている、来ているの文」

3-A

(特定する語)
だれ何は

be動詞
(いる・ある)

付加

ど ころ
そ の 他

い っ
何 時 に
ど の よ う な 条 件 で
ど の く ら い の 間
何 回

も

な ぜ

3-B

There

be動詞
(いる・ある)

付加

(数量詞) だれ何が

ど ころ
そ の 他

い っ
何 時 に
ど の よ う な 条 件 で
ど の く ら い の 間
何 回

も

な ぜ

グループ4の語順表「受け身の文」

4-A

だれ何が／は

どうされる
(be+過分)
付加

どのように
だれによって
どこ
その他

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

4-B

だれ何が／は

どうされる
(be+過分)
付加

何を

どのように
だれによって
どこ
その他

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

4-C

だれ何が／は

どうされる
(be+過分)
付加

to / for だれに

どのように
だれによって
どこ
その他

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

4-D

だれ何が／は

どうされる
(be+過分)
付加

何と, 何に
どんなだ
to どうする

どのように
だれによって
どこ
その他

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ